

留意事項

※車両には、試験の都合上、バッテリー上がりを防ぐため、充電器を接続しています。

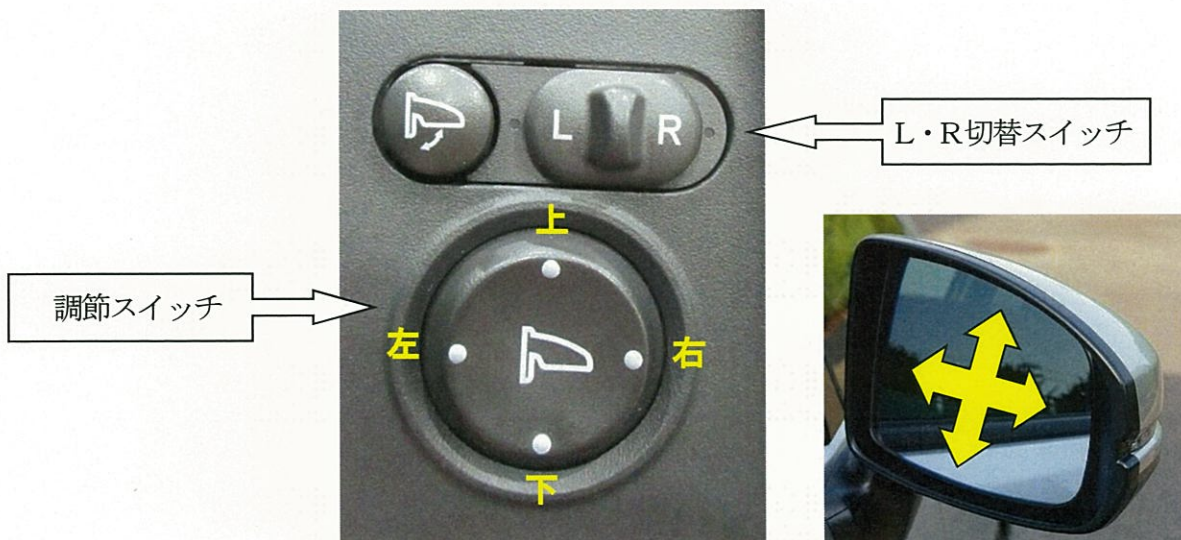
※ドア・ミラー・スイッチの配線を延長しているため、車室内外でのスイッチ操作が可能です。

問題1

- ① 鏡面の動作確認時は、ドア・ミラーのL（助手席側）・R（運転席側）切替スイッチ及び調節スイッチ以外は操作しないこと。

問1

- ① L・R切替スイッチと調節スイッチ



問2

- ① 電圧測定は、チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と、回路図内の番号は、同じです。
- ③ 測定端子での点検は、電圧の測定のみで行い、抵抗の測定は行わないこと。

留意事項

問題2

- ① IGスイッチの操作は、**試験委員**が行うので、必要に応じて指示して下さい。(車両には乗車しないこと。)

問3

- ① 《正常時の各データモニタの参考値》

車両の状態

- ・完全暖機後
- ・アイドリング時
- ・エアコン OFF

項目	参考値
吸気温度センサ	約 3.0V～約 1.0V (20～74℃)
吸気圧力センサ	約 0.8V～約 1.2V (35～40kPa)
エアフローセンサ	約 1.1V～約 1.4V (1.3～2.3g/s)

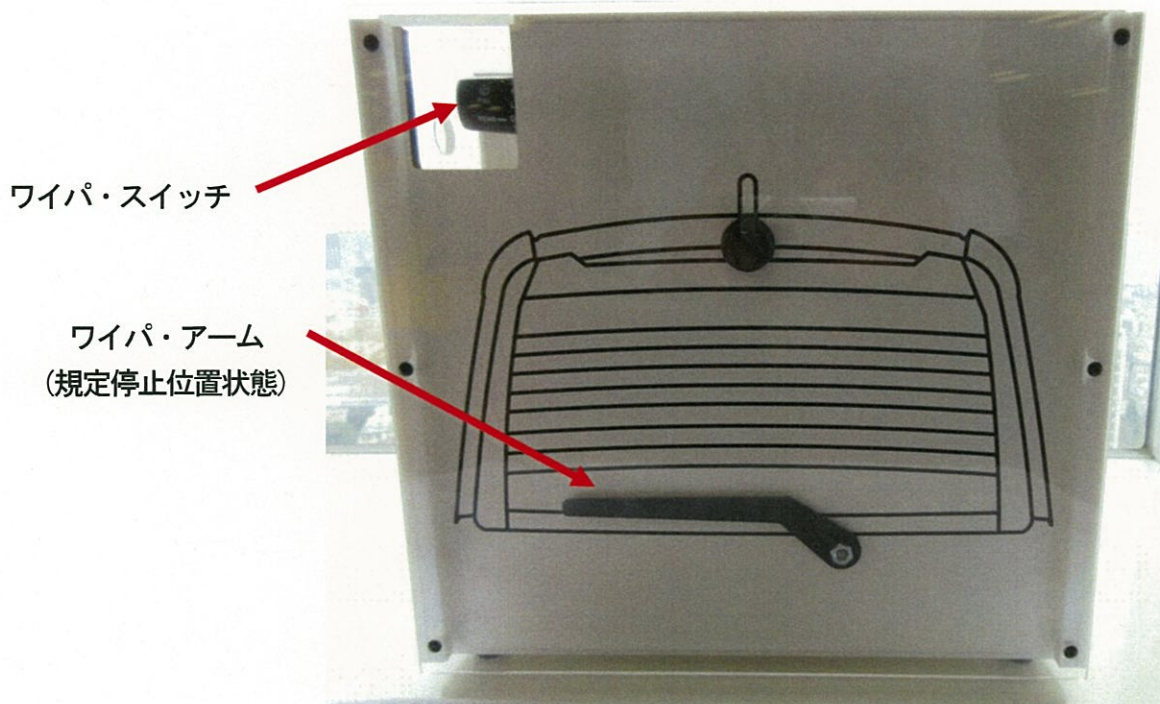
問4

- ① 電圧測定は、チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と、回路図内の番号は、同じです。
- ③ 測定端子での点検は、**電圧の測定のみで行い、抵抗の測定は行わないこと。**

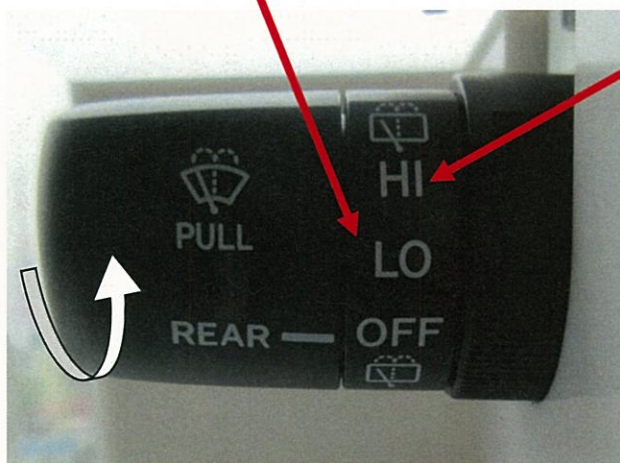
留意事項

問題3

- ① 試験は着席した状態で行うこと。
- ② リヤ・ワイパ・シミュレータの写真



- ③ 正常時は、LOは間欠作動（約 12 秒間隔）し、HIは連続作動する。



※ウオッシュャは作動させないこと。

- ④ 間欠作動の時間計測は不要とする。

問2

- ① 電圧測定は、アナログ式サーキット・テスタを使用し、チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と、回路図内の番号は、同じです。
- ③ 測定端子での点検は、電圧の測定のみで行い、抵抗の測定は行わないこと。

留意事項

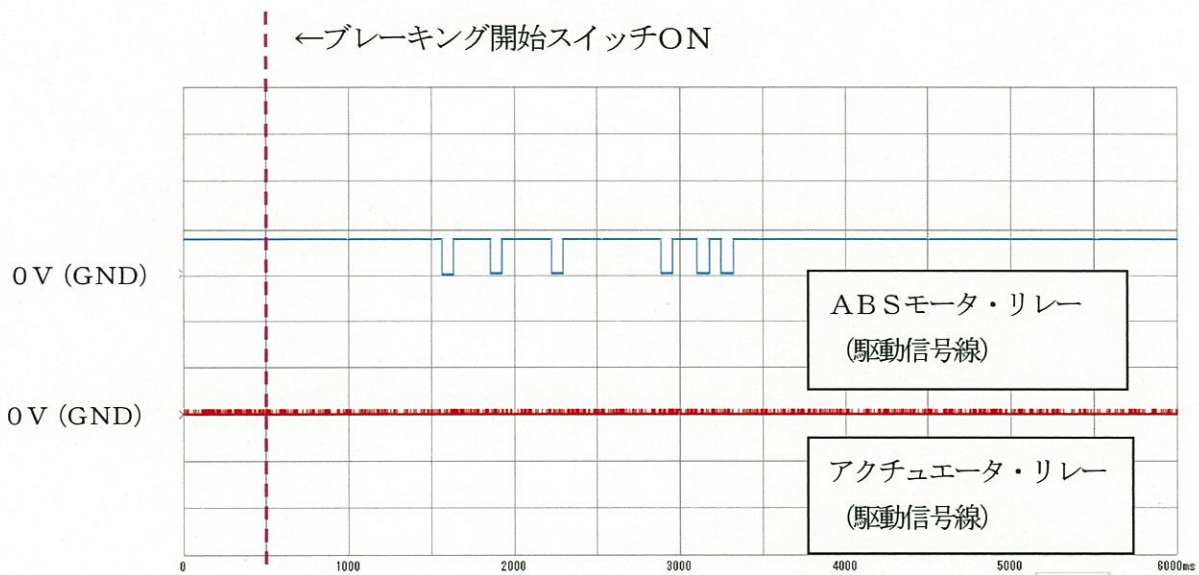
問題4

- ① 試験は着席した状態で行うこと。
- ② 「ブレーキング開始スイッチ」の操作は、**試験委員**が行うので、必要に応じて指示して下さい。
- ③ 50km/h から「ブレーキング開始スイッチ」を押して、0km/h までにかかる時間は約5秒です。



- ⑤ 回路図上の70, 71, 72の測定端子はありません。

⑥ ABSモータ及びアクチュエータ・リレー作動時の波形例



- ・ オシロスコープの設定状態（設定の変更はできません。）

オシロスコープ・モニタの時間軸：500ms/DIV

オシロスコープ・モニタの電圧軸：15V/DIV

プローブは×1です。

問1

- ① 測定は，チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と，回路図内の番号は，同じです。
- ③ オシロスコープ（ノートパソコン）の操作はしないこと。
- ④ プラス・プローブは4Ch分用意してあります。
- ⑤ マイナス・プローブは測定端子60にセット済みです。（全Ch共通）